

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	新谷 等	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3315		事務事業名称	地域排水整備事業						短縮コード	経常		臨時	3315
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	03	河川費	目	02	河川改良費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		河川法，国有財産法，地方自治法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
地域排水および道路排水施設等の流末整備														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして						
都市化の進展等により，雨水排水整備は市民生活を維持していく上で重要な課題となっている。特に近年では短時間に降る集中豪雨等により，家屋の浸水および道路冠水等の災害が多く発生している。						大項目（節）	02	第2節市民の安全						
						中 項 目	01	1. 防災						
						小項目（施策）	03	(3)都市防災対策の推進						
						細 項 目	01	①都市防災構造の強化						
実施計画の計画事業	4041	地域排水整備事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	雨水排水施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 雨水排水施設の整備						
	※平成25年度に計画していること： 雨水排水施設の整備						
意図 （何を狙っているのか）	道路冠水，内水の排除等災害の防止						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	要整備箇所	箇所数	3	3	3	0
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	整備箇所	箇所数	1	3	3	0
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	整備率	%	33	100	100	0
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3315	事務事業名称	地域排水整備事業			所属名	土木建設課
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	5, 569	5, 000	37, 524	0	
		その他	千円			10, 261		
	主な事業費の内訳			工事費 5, 334千円	工事費 5, 000千円	工事請負費 14, 117千円 公有財産購入費 33, 669千円		
	人件費 (B)			千円	10, 492. 5	10, 345	10, 345	0
トータルコスト (A) + (B)			千円	16, 061. 5	15, 345	58, 130	0	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	「地域排水整備事業」は上位の施策である「都市防災対策の推進」を推進するために重要な事業である。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	災害の解消に向けて、今後も整備を実施する必要がある。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	雨水排水施設の整備は、市の責任のもと行うべき事業である。					
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	目的の変更はなく、現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。						
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	集中豪雨などによる水害の防止と解消に向けた雨水排水施設整備を可能な限り実施していることから、現時点では可能性がない。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			☐ 上記以外の方法				2		
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	3315	事務事業名称	地域排水整備事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			集中豪雨等による家屋や道路の水害を防止していくための排水施設の整備を行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現在，排水施設整備に対する住民からの要望等は増加傾向にあるが，これに対し十分な対応がとれていない状況である。今後，整備の推進にあたっては，経費の増加等を伴うが，事業の成果向上を図ることができる。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☒			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
家屋の浸水や道路冠水等の水害対策のための雨水排水施設整備の促進についての意見や， 地域住民および自治会等からの排水施設整備の促進に対する要望が多くある。									

所属長コメント	集中豪雨による家屋の浸水および道路冠水が多く発生している状況を考慮し，市民の安全・安心のために排水施設の整備を推進していく。 また，緊急的な整備が必要となる場合には，補正予算等により対応していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									